

国語

〔一〕 次の文章を読んで問〔1〕～〔18〕に答えよ。

桐壺きつぽの更衣が苦惱くるなうののち死んだことで、『源氏物語』というドラマは動き出します。母桐壺更衣1の面影を追って、息子の光源氏は母によく似た女性たち——藤壺や紫の上ら「紫のゆかり」とされる人々——に惹かれていきます。藤壺・紫の上の二人にもまた、「身分」という影が色濃く関わっています。藤壺は父の后きさきであるにもかかわらず、光源氏と藤壺は関係を持ち、二人の間に子どもが生まれてしまいます。その子は桐壺帝の皇子として育てられ、のちに冷泉帝れいせいとなり、光源氏に栄光と苦悩とを同時にもたらすことになるのです。藤壺の側にも、光源氏に惹かれる心と后という身分意識によって自制する心の間葛藤かつとうがあって、そのような精神の陰影が物語世界に深みを与えています。

〔P〕、光源氏が宮中で青海波せいがは（雅楽の舞曲の一つ）を舞った翌日、光源氏から遣わされた歌への藤壺の返歌とそれに添えた一言は次のようなものでした。

から人の袖ふることは遠けれど立ちるにつけてあはれとは見き
おほかたには。

（唐の人が袖を振って舞ったのは遠い昔のことですが、昨日のあなたの舞には大変感動致しました。その程度の並一通りのこととして理解致しました。）

和歌の方ではすばらしい舞を舞った光源氏への感動が押さえがたく「あはれ」と述べてしまい、逆に「おほかたには」の方では溢れ出ようとする感情を押しとどめ、后としてふるまおうとし、すばらしいと言っても並一通りのことですがと付け加えているわけです。和歌と「おほかたには」ということばの間には、一人の女としての愛情と后という身分という両極を往き来する藤壺の葛藤がよく表現されています（鈴木宏子「葛藤する歌」『源氏研究』翰林書房 二〇〇四年四月）。

また、幼いころから光源氏によって育てられて来た紫の上は、やがて理想的な女性として成長するものの、二人の間には子が生まれません。正妻として現れる女三の宮の存在によって、紫の上は病に倒れ、心労の末に亡くなってしまいます。紫の上は長く連れ添った正妻格の妻ではありますが、女三の宮は朱雀院（桐壺帝の第一皇子で、桐壺帝の次の帝となったがこの時には冷泉帝に位を譲っていた）の娘、身分としては紫の上よりも高く、女三の宮が降嫁かくだということになれば正妻は彼女になります。ここでも身分ということが紫の上に重くのしかかることになります。

そこで、紫の上が自らに厳しく課したのは「人笑へ（世間の笑いものになること）」を回避しようとするものでした。

今はさりとものみわが身を思ひあがり、うらなくて過ぐしける世の、人笑へならむことを下には

思ひつづけたまへど、いとおいらかにのみもてなしたまへり。

(今となってはどうあっても大丈夫、と現在の境遇を気位高く維持し、それまで何の不安もなく過ごしてきたけれど、その二人の關係が世の物笑いになるのかと、心中では思い続けていらっしやるけれども、たいそうおっとりⁱとばかりおふるまいになっていらっしやる。)

ここで、紫の上は、苦しい心の内とは別の次元で、平静を繕おうとする²処世の態度を身に付けているようにしています(鈴木日出男『源氏物語の文章表現』至文堂 一九九七年)。

『源氏物語』には他にも多くの女性たちが登場します。葵の上、六条御息所、夕顔、明石の君、明石の中宮、朝顔、玉鬘、女三の宮、そして、宇治十帖の三姉妹……。エンターテイメントの視点からすると、この作品は光源氏を取り巻く女性たちの個々のドラマが集積してできたものとも捉えられます。その場合、光源氏は単なる^A狂言回しに過ぎないと言えるでしょう。

もちろん、光源氏その人の愛と苦悩に^aシウポイントがあられた物語と解することもできます。藤壺や紫の上の他にも多くの女性と恋をする光源氏の行動原理の根っこには、自分が幼い時に母が亡くなったという生い立ちがあります。母に甘えなかった少年は、欠落した母の代償として多くの女性との恋へと自らを駆り立てていくこととなります。しかし、結局彼は人生の終わりまで、孤独をかみしめていくことにもなるのです(阿部秋生「六条院の述懐」『光源氏論』東京大学出版会 一九八九年)。

人間というのは、どうあっても孤独から逃れられることはない。私は、そのことこそが、この作品を根底から支える世界観だと思います。

そして、女であれ男であれ、個々の登場人物一人についてのみ注目して物語を読み解くことの限界についても言及しておきます。そもそも物語がつむぎ出す世界のありかた自体、人間と人間の相互關係や、さらにそれを包み込む時間と空間によって支配されていて、そこでは個人のレベルを越えた、もっと大きい力のようなものによって世界が形作られています。そういった世界そのもの、いわば全体としてのドラマを^{つか}掴み取ってこそ物語世界を真に把握し得たと言えるでしょう。

P、前の項で『源氏物語』の中心人物である二人の女性のドラマについて述べましたが、そもそも光源氏が藤壺に激しい^b思ボの気持ちを抱くのは母桐壺更衣に似ていたから、またほんの少女であった紫の上を手許に置きたいと思った決め手は藤壺の^{めい}姪で藤壺に似ていたからでした。二人の女性への思いは、光源氏の心の奥底ではつながっているのです。紫の上が光源氏によって見出されることと、藤壺と光源氏が密通することは、同じ若紫巻に描かれていて、そのことが『源氏物語』の「長編としての始発」を支えているのです(高田祐彦『源氏物語の文学史』東京大学出版会 二〇〇三年)。

そして、^B女三の宮にまつわるドラマも、物語全体の構図を念頭に読む必要があるでしょう。女三の宮もまた、藤壺の姪だったのです。このことが降嫁にあたって光源氏の気持ちに影響しないとは考えにくいでしょう。また、女三宮との身分の差が紫の上を苦しめたことを先に述べましたが、女三の宮は同じ藤壺の姪であって、その上も若く身分も高いことを読者は知っているのですから、紫の上の苦しみに感情移入するにあたり、このことを思わずにはいられないでしょう(紫の上は藤壺の兄・

式部卿宮のシヨ子^c。女三の宮は朱雀帝と藤壺の妹の女御との内親王なので、同じ姪といっても身分は大分違います。

また宇治十帖については、神田龍身氏が、ルネ・ジラルルの「欲望の三角形」という理論をエン用^dして、薫と匂宮という二人の男性が互いの欲望を模倣ⁱⁱⁱし合うことによって、大君・中君・浮舟という宇治三姉妹への恋愛関係が次々と連鎖していくことを指摘しています（『源氏物語——性の迷宮へ』講談社選書メチエ 二〇〇一年）。薫の女性への欲望に引きずられるようにして匂宮もその女性に恋をし、薫も匂宮の恋情にシ^e激を受けて同じ女性を求めていくという構造があるのです。ここには男と女の単線的な関係ではなく、男と男と女という複線的な関係が存在しています。

個々人の物語は、他者の物語と必ず連関しています。当然と言えば当然のことをここでもう一度確認しておきます。

（鈴木健一『知ってる古文の知らない魅力』。なお、出題に際して、本文を一部改めてある。）

注

- * 1 降嫁：皇族の女性が皇族ではない男性と結婚すること。
- * 2 宇治十帖：『源氏物語』の中の最後の十帖、「橋姫」～「夢浮橋」のこと。宇治が舞台となっているので宇治十帖と呼ばれる。
- * 3 シヨ子：正妻でない女性が産んだ子どものこと。
- * 4 神田龍身：日本文学研究者。学習院大学名誉教授。（一九五二～）
- * 5 ルネ・ジラルル：フランス出身の哲学者、社会学者。欲望は常に他者の模倣として現れると論じた「模倣の欲望」理論で知られる。（一九三三～二〇一五）

〔1〕 傍線部1「面影」の「面」と同じ読み方をするものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。（解答番号①）

- ①面長 ②上面 ③面相 ④満面 ⑤面目

〔2〕 傍線部2「処世」の「世」と同じ読み方をするものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。（解答番号②）

- ①背筋 ②説明 ③性格 ④与党 ⑤戦争

〔3〕～〔7〕 傍線部a～eのカタカナで書かれた部分と同じ漢字を用いるものを、次の①～⑤からそれぞれ一つ選び、解答欄にマークせよ。

a シヨウ点（解答番号③）

①シヨウ涯をささげる。 ②シヨウ害が多い道。 ③シヨウ燥に駆られる。

④見事なシヨウ楼のある寺。 ⑤岩シヨウに乗り上げる。

b 思ボ（解答番号④）

①ボ記の勉強をする。 ②師のボ前に詣でる。 ③懸賞に応ボする。

④師匠を追ボする。 ⑤街にボ色が迫る。

c シヨ子 (解答番号⑤)

① シヨ悪の根源。

② シヨ名を集める。

③ 由シヨ正しい家柄。

④ シヨ務課に勤務する。

⑤ 夏の避シヨ地として有名。

d エン用 (解答番号⑥)

① エン形の劇場。

② エン故採用される。

③ エン岸部に住む。

④ 親のエン助がある。

⑤ エン会を開く。

e シ激 (解答番号⑦)

① 短刀でシ殺される。

② 放シに流れた生活。

③ シ葉で実験する。

④ 遣唐シに任命する。

⑤ シ肪のとりすぎで太る。

〔8〕 傍線部 i 「おっとりと」の対義語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⑧)

① せかせかと

② おおらかに

③ 物憂げに

④ のびのびと

⑤ 生き生きと

〔9〕 傍線部 ii 「狂言回し」の意味としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⑨)

① 面白おかしいことを言う人物。

② 常軌を逸した行動をとる人物。

③ 物語の進行を手助けする人物。

④ 自分の夢や目標に一途な人物。

⑤ 周囲の人から見下される人物。

〔10〕 傍線部 iii 「模倣」の意味としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⑩)

① 鼓舞すること。

② 真似すること。

③ 扇動すること。

④ 協力すること。

⑤ 反省すること。

〔11〕 波線部ア「藤壺」の説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⑪)

① 光源氏の父親の後であったが、光源氏と関係を持ち、朱雀帝を儲けた。

② 葛藤しながらも光源氏の前で見事な舞を披露し、光源氏を虜にした。

③ 幼いころから光源氏に育てられ、やがて理想的な女性として成長した。

④ 光源氏の正妻女三の宮の伯母で、長く光源氏の気持ちに影響を与えた。

⑤ 薫と匂宮という二人の男性から同時に愛され、複線の関係を結んだ。

〔12〕 波線部イ「苦しい心の内」の説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔12〕)

- ① 光源氏と長年連れ添ってきたが、高い身分の女三の宮が現れ、彼女を正妻として受け入れなければならなくなった苦しさ。
- ② 光源氏の愛情だけを頼みにしてきたが、肝心の光源氏の愛情が若い女性に傾きつつあることを実感している切なさ。
- ③ 光源氏を愛し続けてきたが、光源氏は藤壺の身代わりとしてしか自分を愛していなかったことに気づいた悔しさ。
- ④ 光源氏との間に子どもを切望していたが、結局子どもを持たずに死ぬことになったという悲しさ。
- ⑤ 光源氏にすぎることしかできず、この関係を周囲の人に笑われてしまっていることに対するもどかしさ。

〔13〕 二重傍線部 A「光源氏を取り巻く女性たちの個々のドラマ」とあるが、本文で説明されている「ドラマ」としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。

(解答番号〔13〕)

- ① 一人の女として光源氏に惹かれる気持ちと、社会的な立場からその気持ちをとどめなければならぬ藤壺の、相反する心の紆余曲折。
- ② 憧れの光源氏と結婚したものの、肝心のその夫は自分を藤壺の姪としてしか見てくれないという女三宮の、もどかしくも健気な恋愛模様。
- ③ 手許に置きたいと懇願されて結婚したが、同時並行的に藤壺と密通されてしまっていた紫の上の、同情すべき悲哀にみちた結婚生活。
- ④ 光源氏にとって自分は母の身代わりに過ぎないことを自覚しながらも、溢れ出す恋情を抑えきれない藤壺の、葛藤ばかりの後宮ぐらし。
- ⑤ 最愛の夫光源氏との間に子ができず、結果的に若い女へ夫を渡さざるを得なかった紫の上の、産む性ゆえの苦闘に満ちた活動記録。

〔14〕 波線部ウ「そのこと」の説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔14〕)

- ① 物語は、登場人物たちの個々のドラマが集積してできているということ。
- ② 人間の行動原理には、その人の生い立ちが深く影響しているということ。
- ③ 人間は、人生の終わりまで孤独をかみしめ続ける存在であるということ。
- ④ 文学には、どんな作品にもそれを根底から支える世界観があるということ。
- ⑤ 個々の登場人物にのみ注目する読解は、方法として限界があるということ。

[15] 空欄部 P に共通して入る語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号[15])

- ① ところで ② つまり ③ たとえば ④ しかし ⑤ いっぽう

[16] 波線部 E 「そのこと」の説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号[16])

- ① 『源氏物語』の中心は個々の女性たちのドラマであること。
② 光源氏が父親の欲望を模倣して、藤壺に恋心を抱いたこと。
③ 紫の上が藤壺の姪で、顔も藤壺に似ている女性だったこと。
④ 紫の上の発見と藤壺との密通が同じ巻に描かれていること。
⑤ 光源氏が狂言回しとして物語中に登場することがあること。

[17] 二重傍線部 B 「女三の宮にまつわるドラマも、物語全体の構図を念頭に読む必要がある」とあるが、どういうことか。説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号[17])

- ① 女三の宮は藤壺の親戚で、その関係性は光源氏が女三の宮との結婚を承諾した理由と密接に関わること。
② 女三の宮は若く美しい女性で、その若さが老いを実感し始めた紫の上の苦しみを著しく助長したこと。
③ 女三の宮は内親王という高貴な生まれで、その身分によって光源氏は彼女へ愛情を持つようになったこと。
④ 女三の宮は藤壺と顔が瓜二つで、光源氏にとっては母更衣の代償として自らを駆り立てる容姿だったこと。
⑤ 女三の宮は薫と匂宮という二人の男性から愛され、個々の登場人物のドラマを連関させていく人物であること。

[18] 本文の内容としてもっとも適切なものを次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。

(解答番号[18])

① 物語は小説とは違うため、読解する際はたとえ主人公であっても登場人物に注目していく読解方法にはほとんど意味がない。

② 個々の人物の物語は常に他者の物語と関連しており、その相互関係や構造を読み取っていくことが物語を把握することである。

③ 『源氏物語』は多くの登場人物が登場するが、男と男と女という複雑な関係が描かれるのは宇治十帖だけである。

④ 光源氏は母の代償として紫の上と結婚することを選んだが、のちに若い女三の宮を得ると紫の上を捨てることになった。

⑤ エンターテインメントという視点から見ると、たくさんの美しい女性が登場する『源氏物語』は最良の作品と言える。

(二) 次の文章を読んで問(19)～(36)に答えよ。

人類の歴史上、自然科学においてもっとも劇的な^{*1}パラダイム・シフトといえば、天動説から地動説への転換であったことは間違いない。

中世の西洋社会において、カトリック教会公認の世界観であった「地球中心説」に異を唱えることは、異端^aジーン問のすえに火あぶりの刑に処されかねない危険があった。16世紀にコペルニクス^{*2}が地動説を提唱した以降も、地動説の信奉者たちは長年にわたって激烈な迫害を受け、その考えを「棄教」するよう強制されていたのである。

その後もガリレオ^{*3}・ガリレイをはじめとする科学者たちが、地動説の正しさを証明するさまざまな観測結果を発表したが、それでも西洋社会において、天動説が正しいというパラダイムが揺らぐことは長らくなかった(ちなみにカトリックの総本山であるローマ教皇庁が正式に天動説を放棄し、地動説を承認したのは、一九九二年のことである)。

では、いったいいつ、誰によって、どんなふう^いに天動説が放逐され、概念として人々に受け容れられるようになったのだろうか？

何か決定的な出来事があったのだろうか？

^{*4} クーンⁱは丹念に史書を追って、いつどんなきっかけで地動説が主流となったのか、探っていた。

その結果、じつに興味深いことが分かった。

現在の私たちが過去におきたことを想像するならば、天動説信奉者と地動説信奉者が膝^Bをつきあわせ、どちらが正しいか議論した結果、「私たちが間違っていました。今日から天動説を捨てて、地動説に宗^bシ^b変えします」という人が増えたことによって、地動説が天動説にとってかわったと考えるのが自然だろう。

ところが天動説が棄^すてられ、地動説が受け容れられたのは、天動説の支持者が P からではなかった。主流をなしていた天動説支持者のほとんどは「地球が世界の中心である」ということを最期まで心の底から信じて、この世を去っていったのだ。

それならばどうして、天動説はあるときから見捨てられたのか。

クーンは研究の結果、その理由を「世代が入れ替わったこと」だと喝ⁱⁱ破した。

天動説の支持者のほとんどが死に絶えて、新しい世代のほとんどの人が「天動説なんて非科学的な考え方を支持するヤツは、頭がおかしいんじゃないかね？」と思うようになったからなのだ。

そうやって、天動説は天文学の世界から消え去っていったのである。

私のお伝えしたいことがお分かりだろうか。

それは、大きな世の中のパラダイム・シフトというのは、「世代交代が引き起こす」ということである。古いパラダイムを信じている前の世代を説得して意見を変えさせるのは、不可能であるし、それに労力を注ぐのは時間の無駄だということだ。

自分たちの信じる新しいパラダイム、必要とされるパラダイムの信奉者を、少しずつ増やしていくこと。そうやって「仲間」をつくっていくうちに、いずれ旧世代は死に絶えて、新たなパラダイムの時代となるのである。

ビジネスの世界でも、停滞している分野ほどベンチャー企業が有利であるのはそれが理由だ。業界に長い間君臨してきた企業はかつての成功体験、固定観念にとらわれているために冒険ができない。その固定観念自体が時代の変化にともない、間違ったものになってしまっていることに、気づかないのである。

身近な実例をひとつ挙げよう。この5年間で、**ケー**帯電話のソーシャルゲームがこれほどまでに流行すると気づかず、スマートフォンへの対応に乗り遅れてしまい、新興の**グリー**や**モバゲー**にゲーム市場をあっという間に奪われてしまった国内**Q**ゲームメーカーの姿は、**旧パラダイム**に縛られた悲劇を雄弁に物語っているのではないだろうか。

これもクーンが言っていることだが、世の中を変えるのは、いつの時代も、世界のどこであっても、古いパラダイムや価値観にとらわれていない新人である。新しいパラダイムが必要になっているというのは、これまでの価値観が役に立たない状況となっているからにほかならない。まったく**R**が通用しない状況のなかで、新たな環境にいち早く適応し、生き残っていくのは、常に若い世代なのである。

だからこそ、新しいことを始めようとしている人、そして若い人たちに必要なのが、「チーム」をつくることなのだ。新しい価値観も、新しいパラダイムも、ひとりだけの力では世の中に広めていくことは難しい。自分とビジョンを共有し、その実現に向けて行動する仲間を見つけ出して、初めてスタートラインに立つことができる。

私が大学で行っている授業を聴く学生、各所で行う講演やセミナーの受講者、執筆する本の中心読者は、基本的に20代から30代前半の若者だ。私自身、これからも自分より若い世代に、メッセージを伝えたいと思っている。それは過去の歴史を振り返っても明らかのように、時代を変革するのは常に若い世代の人間であるからだ。

明治維新を例にとれば、**薩長同盟**が成立したとき、**薩摩**の代表・**大久保利通**は35歳、**長州**の**木戸孝允**は32歳だった。**伊藤博文**は大久保利通の亡き後、36歳で内務卿となり、事実上の国政のトップに就任した。明治政府で**逋信大臣**や**文部大臣**などの重要ポストを任された**榎本武揚**は、幕府の海軍を率いて**函館**で明治新政府軍と戦ったとき、32歳である。

ビジネスの世界も東西を問わず、革命的な企業を作り上げたのは20代から30代の若者だ。長年にわたって日本を代表する企業であり続けてきた**パナソニック**、**ソニー**は、それぞれ**松下幸之助**が24歳、**井深大**37歳のときに起業している。

現在の日本経済を牽引する企業である**ソフトバンク**、**日本電産**、**ユニクロ**は、**孫正義**が22歳、**永守重信**が28歳、**柳井正**が35歳のときに社長になった。

アメリカの企業はさらに若い。**アップル**の**スティーブ・ジョブズ**は21歳、**グーグル**の**ラリー・ペイ**

ジは25歳、マイクロソフトのビル・ゲイツとフェイスブックのマーク・ザッカーバーグにいたってはわずか19歳のときに会社を設立しているのである。

ビジネスだけでなく政治の世界も同様だ。イギリス首相のデヴィッド・キャメロンが保守党の党首になったのは39歳のとき。韓国の李明博前大統領は、ヒュンダイグループの中心企業である現代建設の社長に、35歳で就任している。

重要なのは、彼らもひとりです業を立ち上げて成功にいたったわけではなく、「チーム」の力によって大きな業績を成し遂げたということだ。歴史^Cというのの後世「作られる」ものであることから、えてしてひとりの天才がすべてを達成したかのように語り継がれることが少なくない。

21世紀の世界を代表する天才的経営者、スティーブ・ジョブズが創業したアップルも、二人のスティーブ（もうひとりとは、天才コンピュータ・エンジニアのスティーブ・ウォズニアック）が作り上げたかのように喧伝^{けん}されているが、キーマンは別にいる。アップルの黎明期ⁱⁱⁱに3人目の社員としてマイク・マークラというインテルでマーケティングの仕事に従事していた人物が加わり、彼がバンク・オブ・アメリカから貸付枠を得るなど実務面を取り仕切ったからこそ、スタートアップ当初から成功することができたのである。

日本でも若い人たちが中心となり、「ゲリラ的チーム」が各地に生まれ、切磋琢磨^{きたく}しながら新たなチャレンジをしていくことが今求められている。

これからの日本の変化の萌芽^dは、あらゆる分野において、小さなチームが新しい試み^Dをしていくしかない。見つけることができるだろう。その試みのほとんどは大成をおさめることにはならないかもしれない。しかし、100人にひとりでも、200回に1回でも、成功するのであれば、それは社会に多大な変化をもたらす可能性がある。

失敗を恐れて萎^eシユクする人ばかりの社会は、硬直化し、減退していくだけだ。これからの日本は何より、チャレンジする人の母数が増え、たとえ失敗しても何度でも敗者復活戦に挑める社会にすることが大切なのである。

チャレンジにもいろいろなカタチがある。ベンチャー企業を興すのもよいだろう。老舗企業のなかで新規事業に取り組むというカタチもある。地方公共団体で働いている人が、新しい産業振興策や、やったことのない観光事業に取り組むのもよいだろう。

（瀧本哲史 『君に友だちはいらぬ』。なお、出題に際して、本文を一部改めてある。）

注

*1 パラダイム・シフト：パラダイムは、科学史家クーンの方法概念。一般的には、ある一時代の人々のものの見方・考え方を根本的に規定している概念的枠組みをさす。パラダイム・シフトは、科学者集団に共有されているパラダイムが、ある時点で革命的・非連続的に変化する局面のこと。

*2 コペルニクス：ポーランドの天文学者・聖職者。（一四七三―一五四三）

*3 ガリレオ・ガリレイ：イタリアの天文学者・物理学者・哲学者。（一五六四―一六四二）

*4 クーン：アメリカの科学史家。科学理論の転換を説明するものとしてパラダイムの概念を提出。（一九二二―一九九六）

〔25〕 二重傍線部A「じつに興味深いこと」の説明としてもっとも適切なものを次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔25〕)

- ①当時の大多数の人々が本当は地動説を支持していたこと。
- ②天動説は地動説に比べてはるかに非科学的なこと。
- ③天動説の支持者と地動説の支持者が議論しても結論が出なかったこと。
- ④天動説の支持者たちは、最期まで天動説を信じていたこと。
- ⑤天動説の支持者たちの世代が亡くなることによって、はじめて地動説が普及したこと。

〔26〕 二重傍線部B「膝をつきあわせ、どちらが正しいか議論した」の辞書的な意味としてもっとも適切なものを次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔26〕)

- ①どちらが正しいか、激しく対立して議論した。
- ②どちらが正しいか、親しく接してじっくり議論した。
- ③どちらが正しいか、根拠をひとつひとつ対応させて議論した。
- ④どちらが正しいか、互いに冷静な態度で議論した。
- ⑤どちらが正しいか、飲食をともにしながら議論した。

〔27〕 空欄部〔P〕に入る語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔27〕)

- ①脅迫された
- ②死に絶えた
- ③殉教した
- ④見捨てられた
- ⑤論破された

〔28〕 傍線部ii「喝破」の本文における意味としてもっとも適切なものを次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔28〕)

- ①大声で叫ぶこと。
- ②意味を確認すること。
- ③都合のよいように理屈をこじつけること。
- ④強く非難すること。
- ⑤正しい説を確信をもって言い切ること。

〔29〕 空欄部〔Q〕に入る語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔29〕)

- ①大手
- ②新参
- ③新進
- ④地方
- ⑤流通

〔30〕 波線部A「旧パラダイム」の指す内容としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔30〕)

- ①地球が中心になって天が動いているような考え方。
- ②前の世代を説得して意見を変えさせようとする考え方。
- ③古いゲームの方がむしろ優れているという考え方。
- ④過去の成功体験や固定観念に縛られた考え方。
- ⑤ソーシャルゲームが流行するだろうという考え方。

〔31〕 空欄部 R に入る語句としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔31〕)

- ①アイデア
- ②競争原理
- ③前例
- ④独創性
- ⑤非常識

〔32〕 二重傍線部C「歴史というのは後世『作られる』ものである」の説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔32〕)

- ①歴史は、新たに生まれる人々によってその都度作られるものであること。
- ②歴史は、世代交代がなされた後によりやく確定すること。
- ③歴史は、人々の印象によって語られ、事実がそのままに語られるわけではないこと。
- ④歴史は、一種の創作であって、真実の部分はほとんど存在しないこと。
- ⑤歴史は、その時代の世相によって都合よく書き換えられるものであること。

〔33〕 傍線部B「黎明期」の対義語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔33〕)

- ①勃興期
- ②成長期
- ③開拓期
- ④衰退期
- ⑤創業期

〔34〕 波線部I「新しい試み」の例として適切でないものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔34〕)

- ①起業して新たなビジネスを始めること。
- ②大企業で画期的な発想の事業を推進すること。
- ③老舗のソーシャルゲームメーカーに就職すること。
- ④ベンチャー企業でこれまでにない商品を開発すること。
- ⑤公務員が新しいアイデアに基づいた施策実現を目指すこと。

〔35〕 二重傍線部D「チーム」であることが必要な理由としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔35〕)

- ① 新しい価値観やパラダイムを広めていくためには、ひとりだけの力では難しいから。
- ② クーンは、生き残るためには常に若いチームが必要だと説いているから。
- ③ チャレンジする人の母数が増えれば、それはチームになるから。
- ④ 古いパラダイムや価値観にとらわれていない新人達は、チームが好きだから。
- ⑤ 日本を代表する企業はすべて、チームから成り立っているから。

〔36〕 本文に関する内容とは異なるものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。

(解答番号〔36〕)

- ① 西洋社会においては、長い間、カトリック教会公認の世界観ともいえる天動説が極めて強固なパラダイムであり続けた。
- ② 天動説に代わって地動説が定説になるには、後者の信奉者が世代の大多数を占めるようになるのを待たなければならなかった。
- ③ 小さなチームによるチャレンジの試みは、これからの社会において必要なことだが、すべて成功するとは限らない。
- ④ 明治維新のような改革、ビジネスの世界、政治など、さまざまな領域において代表的なひとりの方がめざましい活躍をすることで時代の変革が成し遂げられてきた。
- ⑤ 旧世代からなる従来の企業は、新しいパラダイムを体現した変革を行うのが基本的にとっても難しい。